個別最適な学びについて　～しながわ学びのイノベーション～

◆個別最適な学びとは … 「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を学習者の視点から整理した概念

指導の個別化（指導者の視点）

○一人一人の学びの状況を見極めて、その児童・生徒に合った指導を行う。

●少人数・習熟度別指導の充実　指導助手　区費講師
・より少人数で、一人一人の特性や学習進度に応じた指導を行う。

●授業の効率化を図る
・プリント類のペーパーレス化
→配布時間や書写する時間の短縮　ロイロノートスクール　Teams
・学習ドリルで個の習熟段階に応じた課題に取り組ませ、学習内容を定着させる。　e ライブラリ
→効率化によって作られた時間を個性化・協働化の学びに利用

●個々の思考を見取り、必要に応じて個別にアプローチしたり、全体で共有したりする。　ロイロノートスクール

●学習履歴を元に、一人一人の課題と学習方針を決める。　e ライブラリ

●地域未来塾で、放課後に学習のフォローをする。　Qubena

学習の個性化（学習者の視点）

○課題に対して、児童・生徒が自ら学び方を選び、学びをデザインする。

●教科書・資料を読んだり、先生の話を聞いたりして、疑問に思ったら、すぐに調べる。質問する。　インターネット
→自分自身で問いを立てる。課題をつかむ。学習者から始まる学び

●課題に対して自分で学習方法を決める。自分の方法でまとめて、児童・生徒同士で伝え合う。
(例) 3 年社会：「店ではたらく人と仕事」　ロイロノートスクール　Zoom　Teams
・スーパーマーケットの工夫について自分で調べる方法を選び、調査。
(インターネット・電子書籍・本・雑誌・現地調査・インタビュー等)
・まとめ方・発表の仕方を自分で選んでまとめる。発表する。
(新聞・ポスター・動画・イラスト・劇 等)

●家庭学習は、自分で課題を決めて学習を進める。（自主学習）
・ e ライブラリ でテーマ別学習、ページ・単元指定の学習

個別化・個性化と協働化

○個々の学びが、児童・生徒同士、多様な他者とつながることで、質の高い学びを生み出す。１＋１が２以上になる学び。

●共通の課題に取り組んで、教え合い、学び合う。
（例）算数・数学の問題演習、グループによるプロジェクト学習(Project Based Learning:PBL)

●個別に調べたことを共有し、議論・フィードバックしあうことで、さらに調べたことや考えを深める。
(例) 3 年社会：「店ではたらく人と仕事」
個々に調べたスーパーマーケットの工夫を発表し、児童同士で感想交流・質疑応答・情報提供を行う。（他者との対話）
→知識の共有・新しい視点の獲得・新たな問いの発見　→さらに調べ、思考することで学びが深まる。(自分自身との対話)

新しい学びのスタイルの実現

「未来を切り拓く児童・生徒」の育成に向けた、質の高い授業への改善